

「橋梁長寿命化技術に関する技術研究交流会」

～耐候性鋼橋の事例研究を通して考える低LCC・100年耐久性橋梁～

日 時 : 12月8日(木) 14:00～17:30

場 所 : 琉球大学工学部2号館224(大会議室)

参加人数: 100名(先着順)

参加費 : 土木学会正会員・沖縄会会員: 2,000円、非会員: 7,000円

※会員でCPDS受講証明書を希望しない方は無料です。

※会員入会は <http://www.jsce-oki.tec.u-ryukyu.ac.jp/index.html>

なお、当日の会員入会も可能です。

主催: 土木学会西部支部沖縄会・技術委員会・橋梁長寿命化技術小委員会

共催: 中国地区耐候性鋼橋梁研究会

【プログラム】CPDS対象プログラム

●開会の挨拶 : 土木学会沖縄会会長 矢吹哲哉(琉球大学名誉教授)

1、沖縄における橋梁長寿命化への技術展望

沖縄総合事務局開発建設部: 松野 栄明(15分)

2、沖縄における耐候性鋼橋と今後の研究展望

琉球大学工学部 准教授 : 下里 哲弘(30分)

3、橋梁洗浄技術の実橋検証モニタリングと今後の研究展望

沖縄しまたて協会 環境技術研究部 : 玉城 喜章(30分)

～質疑応答(15分): 休憩(5分)～

4、近畿地方(阪神高速)における耐候性鋼橋

阪神高速道路株 保全交通部保全企画課課長 加賀山 泰一(20分)

5、中国地方における耐候性鋼橋

松江工業高等専門学校 准教授 大屋 誠(20分)

6、四国地方における耐候性鋼橋

中国地区耐候性鋼橋梁研究会: 三浦正純(四電技術コンサルタント)(20分)

7、耐候性鋼橋梁の補修事例

中国地区耐候性鋼橋梁研究会: 今井篤実(日鉄防蝕)(20分)

8、市町村における橋梁維持管理の実態調査

山口大学大学院理工学研究科 教授 麻生稔彦(20分)

～質疑応答(15分)

●閉会の挨拶 : 琉球大学工学部 教授 有住 康則

以 上